

令和7年度 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する評価・計画

体制・項目		R7具体的な取り組み内容の目標計画
外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取り組み	地域の他の保険医療機関との連携	・地域医療連携室にMSWと看護師が配置されているため、連携先からの受診相談を積極的に行い、地域の窓口として定着 ・受診の目的や適切な診療科に繋ぐことで待ち時間の短縮など患者の不満軽減についても継続
医師事務作業補助者の配置による医師の事務作業の負担軽減		・がん登録の業務を医師事務に移行を推進、電子カルテ導入による文書管理システムの変更も伴い、個々のスキルアップを図る
医師の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇軽減		・常勤医師数が減少にならないよう管理 ・突発的な現象に対応するように関係各所と連携を図る
特定行為研修修了者の推進と活用		・共通項目から再受講中、今年度で研修終了予定、新たな受講者を検討中
看護補助者の配置による看護職員の負担軽減		・病床縮小施行、各部署で補助者への移譲業務を検討。地域包括ケア病棟病棟は補助者の準夜勤務を開始、深夜勤務者の業務拡大

○各部署における医師・医療従事者・看護職員の負担軽減の取り組み

分野	項 目	R7具体的な取り組み内容の目標計画
薬剤管理	入院患者の持参薬確認・管理・配薬セットの実施	・障害者病棟の配薬セットを継続 ・持参薬確認は100%を維持
	注射薬のミキシング	・一般病棟の注射薬ミキシングの継続
	抗がん剤の無菌製剤処理、抗がん剤治療計画の確認	・レジメン管理、副作用対策を踏まえ無菌製剤処理、がん患者への服薬指導の実施
	病棟薬剤業務 代行処方	・病棟薬剤業務、代行処方の継続
検査業務	採血業務	・業務改善等により人員が確保後、採血血業務を再開
	翌日の採血管の払い出し	・現状維持
	朝の検体回収	・朝の検体回収を継続(病棟の検体を早い時間に検査施行により、外来の検体提出のピーク時を緩和)
	検体回収	・病棟や手術室、小児科外来からから提出される検体を速やかに回収し、迅速に結果を報告
	栄養サポートチーム(NST) 感染対策チーム(ICT)の参加	・対象患者について必要な検査データを抽出し報告。対象者の拡大を図る ・抗菌薬使用状況の把握と微生物検査情報のフィードバック、ラウンドにおける感染対策の徹底
	透析予防診療チーム参加	・カンファレンス、糖尿病教室への参加 ・病棟の血糖測定器(POCT)の精度管理 ・リブレの結果報告とデータ管理の実施
	肝炎チーム参加	・肝炎陽性患者のフォローアップ ・肝炎感染症検査結果からフォローアップリストの作成 ・電カル導入に向け運用法の調整
医療機器管理	医療機器のメンテナンス	・機器回収は継続的に行う ・メンテナンスを計画通り行い、現場での機器トラブルの減少へつなげる
	オンコール体制の対応	・循環器科の24時間ホットラインの開始により件数増加が見込まれるが通常どおり対応
栄養管理	入院患者の栄養指導	・指導対象者の確認、医師・病棟へ連絡(指導箋の代筆も継続)、患者家族へ指導予約を継続
	栄養サポートチーム(NST)の参加	・NST業務全般について事務局として対応。NST稼働施設認定更新に向けて情報収集及び書類整備
	褥瘡対策チーム、認知症チーム、糖尿病透析予防チーム、心不全チームへの参加。	・対象患者についての食事状況や、指導状況などを報告
医事課	文書作成支援システムの導入	・電子カルテの業者が決定、導入時期や今後の詳細について調整
医事課	難病・小児慢性特定疾患新システムにむけたネットワーク環境の整備	・道からの補助が上限5万まで支給されるが、現状要検討案件
他医療機関連携体制	紹介状の返事作成の徹底	・医師が返書作成について負担を感じているのかを確認 ・電子カルテ導入に伴い、医師の事務作業を負担軽減する方策検討